事例No.	1081
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	茨城県笠間市

事例区分	DX

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・組織改革

事例種類	ICTによる効率化

事例内容・タイトル

ペーパーレス化の一体的推進

出典

地方公共団体における行政改革の取組
（令和３年３月３１日公表）

★ペーパーレス化の一体的推進〈茨城県笠間市(人口約7.3万人)〉

○文書の決裁等について、財務帳票等を含め原則すべて電子決裁により処理している。
○議会や庁内の会議において、タブレット端末によるペーパーレス会議を実施している。
○以上により、庁内のペーパーレス化を一体的に推進している。

<笠間市DXの実現に向けて>

課　題

紙を前提とした事務処理により、以下のような課題が存在
①大量の紙文書の存在　⇒　執務スペースの圧迫、文書の所在把握の困難さ、情報セキュリティの観点からの懸念
②業務の非効率性　⇒　テレワークなどの多様の働き方への対応が困難、決裁のための移動時間

取　組

○文書の起案・供覧・決裁業務のデジタル化（R2～）※ほぼ100%実施
・R2年度の電子決裁件数：約6.5万件
・決裁区分や文書の種類による電子決裁の例外扱いはなし
・受領した紙文書は電子化した後に廃棄する運用とし、ペーパーレスを推進
○財務帳票等の起票・決裁業務のデジタル化（H25～）※ほぼ100%実施
・R2年度の電子決裁件数：約９万件
○課長級以上の職員にタブレットを配布し、ペーパーレス会議を実施（H29～）
・R2年度に実施したペーパーレス会議件数：約130件


ペーパーレス会議


ホテルでのテレワーク

成　果

○紙の削減枚数：年約181万枚（削減額：年約550万円）
○決裁のための移動時間の削減（出先部署⇔本所）（削減時間：年約630時間）
○円滑なテレワークの実現（職場外で起案や決裁が可能。R2年度は90人が実施）
○システムによる情報の集中管理・適正管理の実現